

（ 当院の病院ボランティア活動 ）

500時間達成者、 田村さんに感謝状

病院ボランティア「ピオラ」の代表者としてグループを立ち上げて以来、6年と8か月にわたり活動していただいています、田村さんに大久保病院院長より感謝状が贈られました。

田村さんは平成18年以来、明石市内のサークルりんというグループでボランティアを始められて、現在も市内の小学校の福祉学習の一環として小学校4年生の子どもに演習を続けておられます。スクールガードのボランティアもしつつ当院のボランティアのリーダーとして活動され、今年の6月に当院のボランティア活動だけで、500時間を突破されました。

院内の活動だけでなく、グループの代表として社会福祉協議会との連携会議・行事・地域活動との連携活

動もあるなかで、新人ボランティアさんのお世話やボランティア会議のまとめ等、グループの要として大活躍です。

外来案内を基本として、車いす点検・季節の折り紙作成・ボランティア図書の整理整頓・中庭アジサイの剪定・草引き・クリスマス飾り・七夕飾り・雛飾り等、ボランティアの個性に合わせて活動は広がり、グリーンのエプロンとともに患者さんやスタッフにも馴染んできました。最近の外来案内では自動支払機や駐車場の案内、マイナンバーカードリーダーのご案内、処方のある患者さんへの声掛けなど細やかな案内を受けていただいています。

これからもよろしくお願いいたします。



田村 さん



特定医療法人誠仁会

大久保病院

〒674-0051 明石市大久保町大窪2095-1

tel.(078)935-2563



財団法人
日本医療機能評価機構
認定書受領

当院専用
バス有り
詳細は当院
ホームページ

交通機関をご利用の方

- JR山陽本線「大久保」駅下車、北へ徒歩20分
- 「大久保」駅北口より神姫バス
②のりば 19「山手台」行き
③のりば 12「西神中央」駅、「上岩岡」、
「五百蔵」行き「山手小学校前」バス停下車、
東へ徒歩5分

車をご利用の方

- 第二神明道路「大久保IC」より、
大久保方面へ約10分

大久保病院だよりは
ホームページでもご覧になれます

<https://www.seiinkai.or.jp/>



特定医療法人誠仁会

OKUBO HOSPITAL NEWS



2025年
11月7日
No.59

大久保病院だより

TOPIC



整形外科 医師 松尾 知彦

スポーツ整形外科(膝・足関節)では、膝関節、足関節のスポーツ外傷・障害に対する治療を行っています。患者さんの多くは、適切な筋力トレーニングやストレッチなどのリハビリ指導で、症状の改善が期待できます。

当院では、スポーツ活動の継続を希望する患者さんに対して、積極的に通院でのリハビリを行っています。一方、患者さんの年齢や生活スタイルにもよりますが、前十字靱帯断裂や半月板損傷、O脚を伴う変形性膝関節症では、手術をお勧めすることもあります。当院は大規模病院ではありませんが、だからこそ、流れ作業ではない、丁寧な診察、丁寧なリハビリ指導、丁寧な手術を心がけています。

膝関節、足関節の痛みでお困りの際は、ご相談ください。

加わりました！
整形外科に新しい医師が

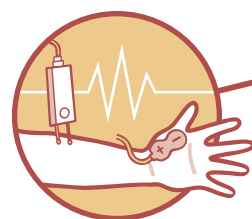
整形外科 医師 片山 直志

整形外科に着任しました片山と申します。主に中国・四国・播磨地域の救急病院で20年ほど整形外科診療に従事してまいりました。日常で起こる運動器(筋肉・骨・腱・神経)の障害を中心に診療を行っています。

手術に関しては、主に骨折等の外傷を得意としていますが、患者さんの年齢や仕事、スポーツ、生活環境をお聞きしたうえで、ご希望に沿って治療計画を立てていきますので、わからないこと、困っていること、心配なこと含めて、遠慮なくご相談ください。

また、症状が安定した場合は、地域の開業医の先生方とも連携し、継続的に治療やリハビリができるようにしてまいりたいと思っていますので、他医紹介等も遠慮なくご用命ください。





神経伝導速度検査のすすめ

－しびれや感覚マヒ、気になっていませんか？－

臨床検査科

神経伝導速度検査は、手や足にしびれがある、力が入りにくい、感覚がマヒしている、などの症状がある方に行う検査です。手や足の末梢神経に皮膚上から電気刺激し、誘発された電位を記録します。その波形の伝導速度、振幅などを計測することで末梢神経疾患の病態を調べることができます。

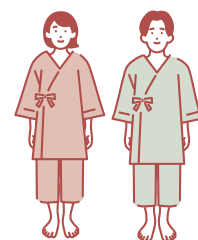
当院では主に手根管症候群や肘部管症候群、糖尿病性末梢神経障害、外傷や圧迫などによる神経障害などを対象に検査を行っています。検査時間は約30～60分です。

電気刺激を行うため、心臓ペースメーカーを装着されている方にはこの検査を行うことはできません。また検査には少しビリっとした痛みを伴いますが、身体への害はありません。

以前から思い当たる症状がある方は、なるべく早く整形外科を受診していただき、早期に適切な治療を行いましょう。検査についてご質問や不安なことがあれば、お気軽に検査科までご相談ください。



日本光電
DC-960B



健康診断・人間ドックの受付は

新南館1階へ移動しました！ 健康管理センター

健康管理センターの健診受付が新南館2階から1階に変更になりました。待合室、更衣室の拡張のため新南館1階フロアへ健診受付を変更しています。健診受付が移動したことにより外来受付より見える位置となりました。

以前からよくご利用いただいている受診者の方は直接2階へ上がってしまうケースがありますが、必ず1階にて健診受付を済ませてから2階フロアへお上がりいただきますようお願いいたします。



健康管理センター受付



女性専用待合



広がった更衣室

新南館2階フロアには男女ともに更衣室を拡張し広く使用いただけるようにしました。また女性専用待合を新たに設置しています。ぜひご利用ください。

結核

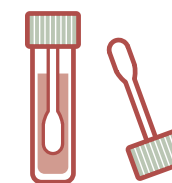
－検査編－

～正しく知ろう感染症～

感染対策委員会

前回でも説明しましたように、結核はいまや日本を脅かす感染症のひとつとなりました。そこで今回は、どのような検査で判定していくのかをお話します。

結核の検査にはレントゲン検査、細菌検査、結核菌の遺伝子を調べる検査、採血した血液を使って結核菌に感染したことがあるか否かを判断する検査など複数のものがあります。



レントゲン検査

エックス線で肺に影や異常がないかを調べます。

細菌検査

痰や胃液を直接ガラス板に塗り、染色して顕微鏡で結核菌の有無を確認します。また、結核菌が生育する培地で菌が生えてくるかを確認します（培養検査）。結核菌が生えたかどうかは2、4、6週後に判定します。もし、菌が生えてきたらその菌がどの抗菌薬で効くかの検査（薬剤感受性検査）を実施します。

遺伝子検査(PCR)

結核菌の遺伝子(核酸)を専用の機器で増幅(増やす)させて結核菌の有無を調べます。培養検査に比べて検査結果が出るのが早いことが特徴です。

IGRA検査

血液を採取し結核菌に特異的な蛋白を使って結核菌に感染したことがあるかを調べます。

結核についての検査は様々あり、それぞれに目的や強みも違うため、何種類かの検査を組合せて結核の診断をしています。

結核は身近な病気です。長引く咳、微熱などの症状があれば早めに受診をするようにしましょう。



ふれあい看護体験

－体験を通して芽生えた未来への志－

ふれあい看護体験は毎年実施しており、今年も7月25日・30日の2日間開催し、合計17名の高校生に参加いただきました。

生徒のほとんどは、看護職を将来の職業として考えており、院内の各場面の体験ではとても興味深く参加

していました。またこの体験から、医療で働く職員が患者さんのことを最優先に考えていることや、患者さんに寄り添う人間関係の大切さを学ぶことができたという意見も聞かれました。

参加された生徒のなかには看護職を目指したい気持ちが強くなった生徒や違う医療職者を目指したいという生徒など、今後の進路の方向づけとなり良い機会となりました。

